

建設事業の進捗状況

- 1. 筑後川水系フルプラン関係施設の概要 1
- 2. 建設事業の進捗状況
 - ・ 福岡導水事業 4
 - ・ 大山ダム事業 5
 - ・ 佐賀導水事業 6
 - ・ 筑後川下流土地改良事業 7
 - ・ 小石原川ダム建設事業 8
 - ・ 両筑平野用水二期事業 9

1. 筑後川水系フルプラン関係施設の概要

● 現行フルプランに掲げられている事業(6事業)

ふくおかどうすい
(1) 福岡導水事業

りょうちくへいやようすい
(6) 両筑平野用水二期事業

さかどうすい
(3) 佐賀導水事業

こいしわらがわ
(5) 小石原川ダム建設事業(検証対象)

ちくごがわりゅう
(4) 筑後川下流土地改良事業

おおやま
(2) 大山ダム建設事業

注1：この図面は平成21年3月末時点の市町村界をもとにフルプラン地域を示しており、計画策定時点のものとは一致しない。

1. 筑後川水系フルプラン関係施設の概要

● フルプランに掲げられた事業 ①

りょうちくへいやうすい
両筑平野用水事業

えがわ
江川ダム



めおといし
女男石頭首工



【目的】

- ・両筑平野の農地に対する農業用水の補給（寺内ダムとの総合利用）
- ・福岡県の水道用水、工業用水と佐賀県の水道用水の供給

【事業主体】

- ・（独）水資源機構

【河川名】

- ・筑後川水系小石原川、佐田川

【工期】

- ・昭和39年度～昭和49年度

てらうち
寺内ダム建設事業

寺内ダム



【目的】

- ・両筑平野の農地に対する農業用水の補給（江川ダムとの総合利用）
- ・福岡県、佐賀県の水道用水の確保
- ・洪水調節、流水の正常な機能の維持

【事業主体】

- ・（独）水資源機構

【河川名】

- ・筑後川水系佐田川

【工期】

- ・昭和45年度～昭和53年度

ちくごおおげき
筑後大堰建設事業

筑後大堰



【目的】

- ・福岡県及び佐賀県の水道用の確保
- ・塩害防除、流水の正常な機能の維持、既得かんがい用水の取水位の安定

【事業主体】

- ・（独）水資源機構

【河川名】

- ・筑後川水系筑後川

【工期】

- ・昭和48年度～昭和59年度

2

1. 筑後川水系フルプラン関係施設の概要

● フルプランに掲げられた事業 ②

りゅうもん
竜門ダム建設事業

竜門ダム



【目的】

- ・福岡県及び熊本県の水道用水及び工業用水の確保並びに熊本県の農業用水の確保
- ・洪水調節、流水の正常な機能の維持

【事業主体】

- ・国土交通省

【河川名】 さこま

- ・菊池川水系迫間川

【工期】

- ・昭和45年度～平成13年度

まつばら しもうけ
松原・下笠ダム再開発事業

下笠ダム



【目的】

- ・大分県の水道用水の確保
- ・洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電

【事業主体】

- ・国土交通省

【河川名】

- ・筑後川水系筑後川

【工期】

- ・昭和54年度～昭和59年度

みのうさんろく
耳納山麓土地改良事業

こしよ
合所ダム



【目的】

- ・筑後川中流部左岸沿いの農地に対し必要な農業用水の確保及び補給を行う。また合所ダムは福岡県の水道用水も併せて確保

【事業主体】

- ・農林水産省（福岡県管理）

【河川名】 くまのうえ

- ・筑後川水系隈上川

【工期】

- ・昭和46年度～平成5年度

やまがみ
山神ダム

山神ダム



【目的】

- ・福岡県の水道用水の確保
- ・洪水調節、流水の正常な機能の維持

【事業主体】

- ・福岡県

【河川名】 ほうまん

- ・筑後川水系宝満川支川山口川

【工期】

- ・昭和43年度～昭和54年度

3

2. 建設事業の進捗状況（福岡導水事業）

○場所

- 【取水施設】福岡県久留米市高野たかの
- 【調整池】福岡県筑紫野市大字山口うしくび
- 【導水路】福岡県久留米市高野～大野城市牛頸

○目的

- ・水道用水の供給（福岡市及びその周辺地域：最大2.767m³/s）

○諸元

- 【調整池】有効貯水容量：約3,900千m³
- 【導水路】延長：約24.7km

○事業費 約782億円

○経緯

- ・昭和51年度 実施方針指示，導水路工事着手
- ・昭和58年度 導水路工事完成，福岡地区暫定通水開始
- ・平成3年度 調整池本体工事着手
- ・平成10年度 山口調整池完成

○進捗状況

- 平成21年度迄事業進捗率96.7%（事業費ベース）

○事業主体

- （独）水資源機構



山口調整池



水管橋



取水口



2. 建設事業の進捗状況（大山ダム建設事業）

○場所

大分県日田市大山町西大山地先

○目的

- ・洪水調節（赤石川及び筑後川の洪水防衛）
- ・流水の正常な機能の維持
- ・水道用水の供給（福岡県：最大1.31m³/s）

○諸元

- ・重力式コンクリートダム 高さ 99m
- ・総貯水容量 1,960万m³

○事業費 約1,400億円

○経緯

- ・昭和58年度 実施計画調査開始
- ・昭和63年度 建設事業着手
- ・平成19年度 ダム本体工事着手

○進捗状況

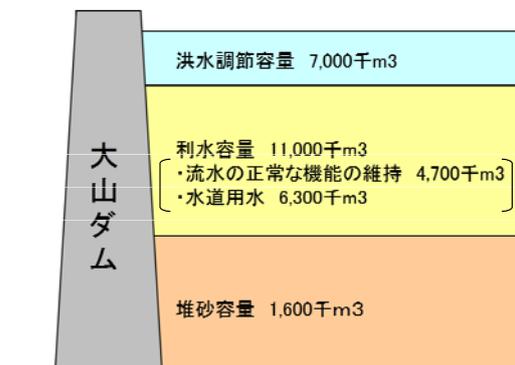
- 平成21年度迄事業進捗率60.3%（事業費ベース）

○事業主体

- （独）水資源機構



ダム本体工事状況下流より望む（平成22年9月13日現在）



2. 建設事業の進捗状況（佐賀導水事業）

○場所

筑後川水系東佐賀導水路（筑後川分派点～城原川合流点）
筑後川水系西佐賀導水路（城原川分派点～嘉瀬川合流点）

○目的

- ・洪水調節（佐賀市街部の洪水被害軽減）
- ・内水排除（佐賀平野を流れる中小河川の内水被害軽減）
- ・流水の正常な機能の維持
- ・水道用水の供給（佐賀県：最大0.65m³/s）

○諸元

- ・導水路 L=約23km
（東佐賀導水路L=13.2km、西佐賀導水路L=9.8km）
- ・巨勢川調整池（治水）総貯水容量 2,200千m³
- ・治水施設 8ヶ所
- ・利水施設 3ヶ所

○事業費 約995億円

○経緯

- ・昭和49年度 実施計画調査開始
- ・昭和54年度 建設事業着手
- ・平成20年度 佐賀導水事業完了

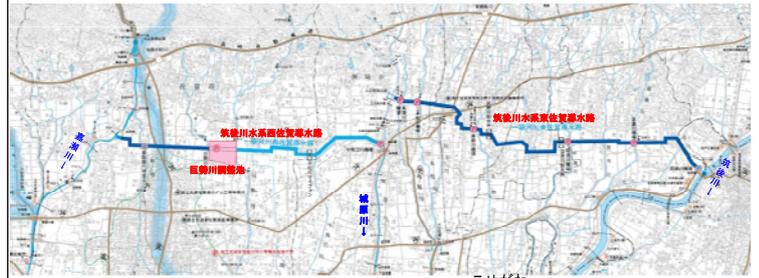
○進捗状況

平成21年度迄事業進捗率100%（事業費ベース）

○事業主体

国土交通省

佐賀導水事業管内図



導水管（開水路）



取水口（左：城原川

巨勢川調整池



右：筑後川）



6

2. 建設事業の進捗状況（筑後川下流土地改良事業）

○場所 筑後川下流 20市町(福岡県 7市1町、佐賀県 6市6町)

○目的

本事業は、水路等を建設し、クリークの統廃合整備を行うことにより、淡水取水の合理化を図るとともに、筑後川下流用水事業とあわせて、福岡県及び佐賀県の筑後川下流地区の農地に対して必要な農業用水の確保及び補給を行うものとする。

○主要工事計画 導水路工 L=27.8km、揚水機 1箇所 等

○事業費 約1,840億円

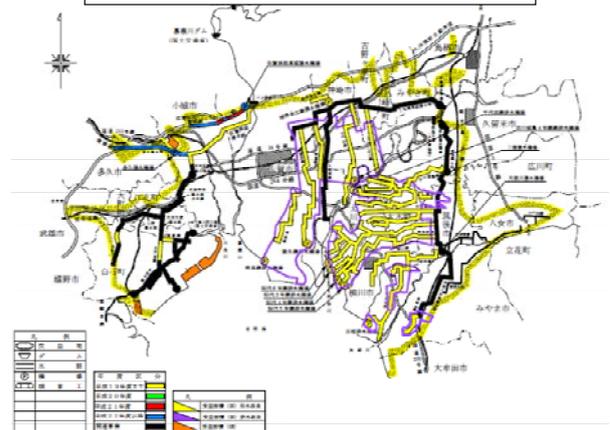
○事業の進捗状況

平成21年度迄事業進捗率91.4%（事業費ベース）

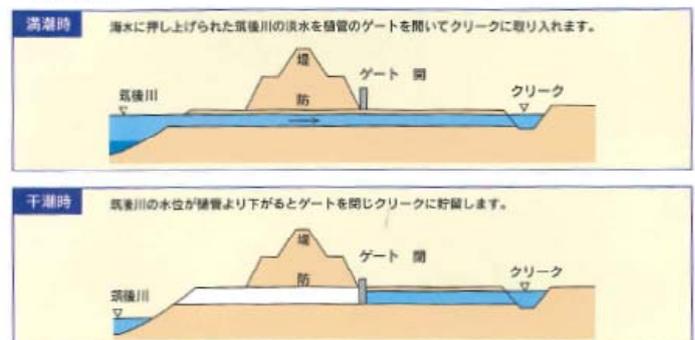
○事業主体

農林水産省

国営筑後川下流土地改良事業 事業概要図



淡水(アオ)取水



7

2. 建設事業の進捗状況（小石原川ダム建設事業）（検証対象）

○場所

福岡県朝倉市大字江川地先

○目的

- ・洪水調節（小石原川の洪水防御）
- ・流水の正常な機能の維持
（異常渇水時の緊急水の補給含む）
- ・水道用水の供給（福岡県：最大0.65m³/s）

○諸元

- ・水源施設 ロックフィルダム 高さ129m
総貯水容量4,000万m³
- ・導水施設 導水トンネル 約5km

○事業費 約1,960億円

○経緯

- ・平成15年度 環境影響評価書の公告・縦覧
- ・平成17年度 事業実施計画の認可
- ・平成19年度 集団移転地工事着手、補償基準妥結
- ・平成20年度 付替国道に関する基本協定の締結

○進捗状況

平成21年度迄事業進捗率14.5%（事業費ベース）

○事業主体

（独）水資源機構



8

2. 建設事業の進捗状況（両筑平野用水二期事業）

○場所

福岡県朝倉市ほか1市2町

○目的

この事業は、両筑平野用水施設の改築を行うことにより、福岡県の農業用水、水道用水及び工業用水並びに佐賀県の水道用水の供給のための水路等の機能回復を図るものである。

○主要工事計画

- ・導水路改築：延長約4.2km（寺内導水路等）
- ・幹線水路改築：延長約22km
- ・頭首工改築：2箇所（女男石頭首工、甘木橋頭首工）等

○事業費 約210億円

○進捗状況

平成21年度迄事業進捗率41.6%（事業費ベース）

○事業主体

（独）水資源機構

◇両筑平野用水平面図



水密ゴムの破断による漏水状況



導水路の改築



導水路の補強・補修状況

9